

い～な E-naだより

国土交通省関東地方整備局
江戸川河川事務所発行
電話04(7125)7311
2017年8月1日【第8号】

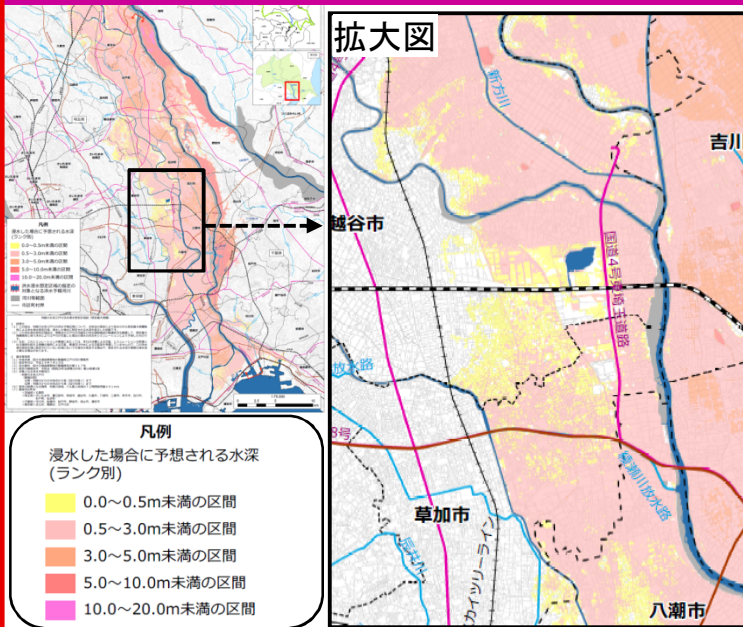
～洪水浸水想定区域図を公表しました～ お住まいの地域の浸水リスクを確認!!

詳しくは事務所HPをご覧ください。



http://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa/edogawa_index008.html

江戸川洪水浸水想定区域図



平成29年7月九州北部豪雨に続き、秋田県で300ミリを超える大雨が降るなど、豪雨による被害が相次いで発生しています。

国では、住民の皆さんに万が一洪水が起きた場合の状況を知ってもらい、その時の対応(災害への準備、避難の仕方)について事前に考えていただくことで、被害を小さくするよう洪水浸水想定区域図を公表しています。

是非一度ご覧になり、ご自宅周辺の浸水リスクを確認し、災害への備えについてご家族で話し合ってみてください。

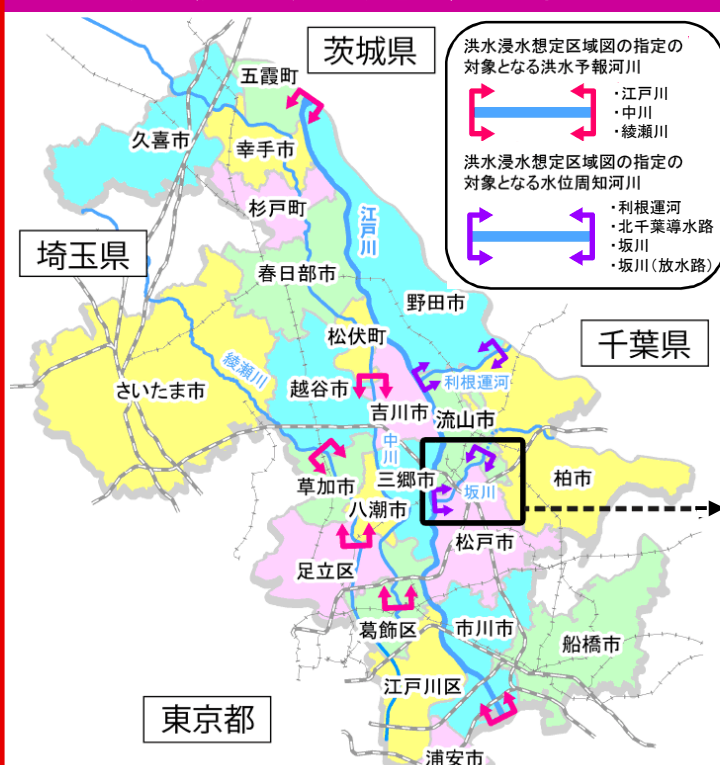


鬼怒川決壊
(平成27年9月関東・東北豪雨)



・浸水が概ね解消するまでに10日を要しました。
・避難の遅れ等により、多くの住民が孤立し、約4,300人が救助されました。

洪水浸水想定区域を公表した市区町



TEC-FORCEを派遣しました！



TEC-FORCE (緊急災害対策派遣隊)

Technical Emergency Control-FORCE

九州地方整備局派遣

江戸川河川事務所では、平成29年7月九州北部豪雨に伴う九州地方整備局への支援を実施するため、TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)4名を7月15日(土)～7月21日(金)の間、大分県日田市へ派遣して、被災状況の調査を実施しました。



出発式



被災状況調査



被災状況調査



調査結果報告

重要水防箇所合同巡視を実施しました！

本格的な出水期を前に、江戸川、及び、中川・綾瀬川大規模氾濫に関する減災対策協議会の取り組みとして、江戸川河川事務所、関係都県、関係市区町で「重要水防箇所」合同巡視を実施しました。

「重要水防箇所」とは、洪水時に堤防が崩れたり、洪水が堤防を越えるなどの水害を受ける恐れがあり、重点的な見回りや点検が必要な箇所をいいます。

- ・ 実施期間：平成29年5月16日～25日
- ・ 対象河川：江戸川、中川、綾瀬川、利根運河（江戸川河川事務所管理区間）

※江戸川右岸44.5k付近



※江戸川左岸39.0k付近



※中川右岸26.5k付近



あとうき

平成27年の鬼怒川の決壊を受け、「施設の能力には限界があり、施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」へと意識を変革し、社会全体で洪水に備える必要があると答申が出され、国、自治体によりハード、ソフト一体となった様々な対策が実施されています。

事前に浸水リスクを知ったうえで、降雨や洪水に関する様々な情報を入手して、災害が迫った時に適切な行動を取り、逃げ遅れることがないように普段から心がけて下さい。

※「E-naだより」は江戸川河川事務所及び各出張所（管理支所）で入手できるほか、江戸川河川事務所 H.P.(<http://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa/edogawa00691.html>) にも掲載しています。

※このQRコードから江戸川河川事務所管内の降雨状況や水位情報などが入手できます。

